



石井町長

町政執行への所信表明

11月20日(水)に開会された令和元年第6回雄武町議会臨時会において、石井友藏町長が町政執行への所信を表明しました。



「郷土愛を育み

未来に夢と希望の持てる

まちづくり」

私は、先の町長選挙におきまして、町民の皆様をはじめ、各方面からの温かいご支援とご支持により、当選を果たすことができ、町政の重責を担うこととなったところであります。

昨今の地方行政を取り巻く環境は、少子化による人口減少や生産年齢人口の減少による地域経済を支える担い手の不足など、極めて厳しい状況にあります。職責の重大さを肝に銘じながら、将来にわたり雄武町として、存在感のあるまちづくりを、不断の決断と実行力をもって進めるとともに、子どもから高齢者まで、夢と希望の持てる、安全・安心なまちづくりに強い信念を持ち、町

民の皆様とともに、「郷土愛を育み未来に夢と希望の持てるまちづくり」を実現するために、地域産業・医療・福祉・教育・観光に関する支援を重要政策と位置付け、スピード感を持って実行性のある取組みに全力を尽くす覚悟であります。

本日、この議場におきまして、町議会議員の皆様、町民の皆様には私の町政執行にあたり、その所信の一端を申し上げることが出来ます。ことは、誠に光栄であり、大きな喜びとともに、改めてその職責の重大さを痛感しているところであります。

それでは、私のまちづくりの「基本政策」と「重要政策」について説明します。

まちづくりの基本政策

私は、まちづくりの具現化には、これまで先人が切り拓き育んできた従来のまちづくりを継承しつつ、人口減少の下げ止まりを早急に実現し、いつまでも活力ある町として発展していくための「地域経営方針」である「第6期雄武町総合計画」は、町政の基本的方向と具体的施策や事

業を体系的に計画するものであり、町政を進めていく上で非常に重要であると考えているのであります。これからも総合計画が、「住民合意計画」となることを基本理念として取り組んでまいります。

まちづくりの重要政策

- ① 地域産業によるまちづくり
- ② 医療・福祉によるまちづくり
- ③ 教育によるまちづくり
- ④ 観光によるまちづくり
- ⑤ 町民と真の協働によるまちづくり
- ⑥ 人口減少対策によるまちづくり

重要政策①

地域産業によるまちづくり

◎第1次産業（農林水産業）と第2次産業（加工業）、第3次産業（商工業）のさらなる振興を図り、6次産業化の推進により、生産力の拡大と付加価値を高め、雄武ブランドを目指し、所得向上を図ってまいります。

◎第1次産業を中心とした産業を発展させ、雇用の拡大に伴う労働力不足をAIと融合し、解消を図ってまいります。

◎担い手の不足は深刻な問題であり、各産業団体と協議しながら、解消に向けた取組みを進めてまいります。

◎外国人技能実習生は、地域産業において欠かせない存在であるため、研修会や交流会の開催など、オホーツク国際人材交流協同組合及び各関係団体と協議しながら、取組みを進めてまいります。

◎国営緊急農地再編整備事業雄武丘陵地区は、網走開発建設部が事業主体となって平成28年度から実施されておりますが、当初

計画では全町の整備を要望していたところ、国の予算の関係から分割され、北側の雄武丘陵地区だけが採択されております。このことから、南側地区の早期の事業採択に向け、北オホーツク農業協同組合や行政機関と連携し、要請活動等に取り組んでまいります。

◎元稲府漁港は、地元の要望を盛り込んだ「新たな特定漁港漁場整備事業」について、雄武漁業協同組合と行政機関が連携して採択に向けて取り組んでいるところであり、本事業の実現を目指し、引き続き関係機関への要請活動等に取り組んでまいります。

◎大型協業法人の設立等、規模拡大が進む近年の酪農情勢の変化に伴い、今後、地域の課題となる家畜糞尿処理の対策として、バイオガスプラント建設の可能性について平成30年度から調査を進めてまいりましたが、現在ではFIT制度を活用した売電が見込めなくなったことから、